

日本学術会議 第24期哲学委員会「古典精神と未来社会」第1回分科会 議事要旨

日時：平成28年12月9日（土）10時45分～11時30分

場所：日本学術会議 5-C(1)会議室

（出席13名）岡田（世話人）、伊藤、梶原、加藤、熊野、小島（委員長）、佐藤、巽、土田、土屋、納富（副委員長）、吉水（幹事）、渡邊

（欠席7名）芦名、葛西、鈴木（他分科会出席）、手島、鳥越、中島、芳賀

議題

1 第24期分科会委員長の選出

小島毅第23期委員長が引き続き第24期委員長に選出された。小島委員長より、納富信留、吉水千鶴子が引き続きそれぞれ副委員長、幹事に任命された。

2 第23期分科会の活動報告（小島23期委員長）

国家公務員採用総合職試験教養区分の試験に古典を題材とした哲学的思考を問う論述問題を盛り込む改革案について提言を出すことを目指し、活動してきたが、提言案をまとめるには至らず記録として文書を遺したこと、その内容について報告された。また22期の活動として岩波ジュニア新書、知の航海叢書で「知の古典は誘う」（仮題）の出版に向けて準備をしてきたこと、今期に出版予定であることが報告された。

3 第24期の活動計画

国家公務員採用総合職試験教養区分の論述問題試験を含める案について「提言」を目指すことが確認された。

第24期の新しい活動内容については改めて分科会を開催し（3月頃？）、検討することとした。

- * 大学における古典教育について考えてもよいのではないか（土田）。
- * 学術会議全体の課題である Future Earth, Sustainability, AI などの問題との関連、本分科会の設置目的（古典精神を現代社会に活かす）、社会連携を考慮すべきである（小島委員長他）。
- * 東京大学以外の場所でシンポジウムなどを開催してほしい（納富）。